

1. 件 名：東京電力ホールディングス株式会社柏崎刈羽原子力発電所の原子力事業者防災訓練の事前説明について

2. 日 時：令和3年9月22日 13:30～15:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁

緊急事案対策室

川崎企画調整官、和田専門職

原子力規制企画課 火災対策室

守谷室長、北嶋室長補佐、山下係長

(以下、テレビ会議システムによる出席)

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 課長他16名

北陸電力株式会社

原子力本部原子力部原子力防災チーム統括(課長) 他5名

5. 要 旨

東京電力ホールディングス株式会社から、令和4年2月4日に予定されている同社柏崎刈羽原子力発電所の原子力事業者防災訓練に関して、内部火災を起因とした事故シナリオの検討について、資料1に基づき説明があった。

原子力規制庁から、火災を起因とした事故シナリオについて、以下のような火災時の特徴等を考慮し、緊急時対応の能力向上を促す実効性のあるものとするよう伝えた。

- ・電気火災、ケーブル火災等の様々な火災が想定され、また、火災の発生箇所のみならず、延焼により影響を及ぼす範囲が広がるおそれがあるなど、地震を起因とした共通要因故障や内的事象のランダム故障とは異なる機能喪失が発生しうること
- ・火災による温度上昇やばい煙は、事故対策を講じる上で環境条件の悪化となるおそれがあること

北陸電力株式会社から、令和4年1月21日に予定されている同社志賀原子力発電所の原子力事業者防災訓練において、内部火災をシナリオに取り入れる旨発話があった。

東京電力ホールディングス株式会社及び北陸電力株式会社から、本日

の面談を踏まえ、対応する旨回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 原子力事業者防災訓練に盛り込む内部火災シナリオ候補について（案）（東京電力ホールディングス株式会社）